

 株 式 会 社 大 誠 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 事 務 所 埼 玉 県 知 事 登 録 (4) 第 9615 号 代 表 取 締 役 一 級 建 築 士 小 林 弘 幸		日 付	記 事	承 認	照 査	設 計	設計年月日	件 名 市庁舎本館事務棟ほかトイレ改修工事	縮 尺 A1 - A3 -	AA-001
										
									一級建築士 第193004号 大形 一朗	
										

5

建具改修工事

①改修工法

[5.1.3]

既存建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

・7mm以下製建具

・

・

・建具表による

・樹脂製建具

・

・

・建具表による

・鋼製建具

・外部

・

・建具表による

・鋼製軽量建具

・内部

・

・建具表による

・ステンレス製建具

・

・

・建具表による

・木製建具

・

・

・建具表による

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

※図示

・

新規建具周囲の補修工法及び範囲

※図示

・

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章

防水改修工事による。

・再使用（・ブラインドボックス

・

適用箇所

※建具表による

・

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動

・行う（※建具表による

・

・行わない

2

防火戸

3

見本の製作等

建具見本の製作

・行う（建具符号：

・

・行わない

建具見本製作の目的等：（

・

特殊な建具の仮組

・行う（建具符号：

・

・行わない

4

防犯建物部品

適用箇所（・建具表による

・

5

アルミニウム製建具

性能値等

[5.2.2~5][表5.2.1、2]

耐風圧性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

気密性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

水密性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

外部に面する建具の種類

・

種類

耐風圧性

気密性

水密性

施工箇所

・A種

S-4

A-3

W-4

※図示による

・B種

S-5

・

・

※図示による

・C種

S-6

A-4

W-5

※図示による

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

枠の見込み寸法

※建具表による

・

材料

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

・

表面処理

外部に面する建具

種類

・BB-7種

・BB-2種

・

着色

・標準色

・特注色

・

屋内の建具

種類

・BB-1種

・BB-2種

・

着色

・標準色

・特注色

・

結露水の処理方法

・水貯め式

・排水式

・

工法

水切り板、ぜん板等

※図示

・

・カバー工法

・

6

網戸等

種類

材質

線径

網目

・防虫網

※合成樹脂製

・ガラス繊維入り合成樹脂製

※0.25mm以上

※16〜18メッシュ

・防鳥網

ステンレス(SUS304)線材

1.5mm

網目寸法15mm

7

樹脂製建具

性能値等

[5.2.2][5.3.2~5]

耐風圧性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

気密性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

水密性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

外部に面する建具の種類

・

種類

耐風圧性

気密性

水密性

施工箇所

・A種

S-4

A-4

W-4

※図示による

・B種

S-5

・

・

※図示による

・C種

S-6

・

・

※図示による

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級

・T-1

・T-2（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級

・H-4

・H-5

・H-6

・H-7

・H-8（適用する建具

※建具表による）

外部に面する建具の日射熱取得性の等級

・

枠の見込み寸法

※建具表による

・

材料

ガラス

※複層ガラス

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

表面色

・標準色

・特注色

・

工法

水切り板、ぜん板

※図示

・

⑧鋼製建具

[5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]

性能値等

簡易気密型ドアセット

・適用する（※建具表による

・

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

耐風圧性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア

断熱性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

耐震ドア

面内変形追随性の等級（・D-1:1/300

・D-2:1/120

・D-3:1/100（適用する建具

※建具表による）

材料

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)

※建具表による

・

上記以外の鋼製建具

※[表5.4.2]による（※建具表による

・

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※建具表による

・

9

鋼製軽量建具

性能値等

[5.2.2][5.5.2~4]

簡易気密型ドアセット

・適用する（※建具表による

・

・適用しない

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア

断熱性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

耐震ドア

面内変形追随性の等級（・D-1:1/300

・D-2:1/120

・D-3:1/100（適用する建具

※建具表による）

材料

鋼板

・亜鉛めっき鋼板

・ビニル被膜鋼板

・カー鋼板

・ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

召合せ、縦小口包み板の材質

※鋼板

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・40×20×1.5

・

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ

大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの)

※建具表による

・

上記以外の鋼製軽量建具

※[表5.5.1]による（※建具表による

・

防音性能を求める戸(建具表による)

・

防音充填剤(グラスウール又はロックウール)

・

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※建具表による

・

10

ステンレス製建具

性能値等

[5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]

簡易気密型ドアセット

・適用する（※建具表による

・

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

耐風圧性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

防音ドア、防音サッシ

遮音性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ

断熱性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

断熱ドア

断熱性の等級（

・

（適用する建具

※建具表による）

耐震ドア

面内変形追随性の等級（・D-1:1/300

・D-2:1/120

・D-3:1/100（適用する建具

※建具表による）

材料

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※H L

・

形状及び仕上げ

表面仕上げ

※H L

・鏡面仕上げ

・

工法

ステンレス鋼板の曲げ加工

※普通曲げ

・角出し曲げ

・

⑪木製建具

[5.7.2~4]

建具材の加工、組立時の含水率

※A種

・

建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

・

⑫建具用金物

[5.8.1~3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等

※[表5.8.1]及び適用は建具表による

・

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5.8.2]による

・建具表による

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5.8.3]による

・建具表による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※[表5.8.4]による

・建具表による

木製建具に使用する戸車及びレール

※[表5.8.5]による

・建具表による

置り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置

※建具表による

・図示

錠前類

・

シリンダ錠錠錠及びシリンダ本締まり錠

・

クローザ類

・

⑬鍵

[5.8.4]

マスターキー

・製作する（・新規

・既存マスター合わせ）

・製作しない

その他の鍵

※各室3本1組（匿名礼付き）

・

錠箱

・無

・有

14

自動ドア開閉装置

戸の開閉方式

・

・建具表による

・

・引き戸用駆動装置

・

性能値

※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆

・適用する

・適用しない）

・種類、開閉方式（

・

・耐電圧（

・

・耐温度上昇（

・

・耐耐久性(サイクル)（

・

・防錆（

・

・電源（

・

・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置

・

性能値

※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆

・適用する

・適用しない）

・耐電圧（

・

・耐温度上昇（

・

・耐耐久性(サイクル)（

・

・防錆（

・

・電源（

・

・引き戸用検出装置

・

性能値

※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆

・適用する

・適用しない）

・耐電圧（

・

・耐温度上昇（

・

・耐耐久性(サイクル)（

・

・防錆（

・

・電源（

・

引き戸用検出装置の種類及び必要性性能項目

・建具表による

・

タッチスイッチの種類

・無線式タッチスイッチ

・光線式タッチスイッチ

・

車椅子使用者用便房操作スイッチの種類

・大形押しボタンスイッチ

・非接触スイッチ

・

凍結防止措置

・行う

・行わない

①エンジン装置更新

・

性能

※[表10.1]による

・

15

自閉式上り引戸装置

性能

[5.10.3]

シャッターの種類

・管理用シャッター

・外装用防火シャッター

・屋外用防火シャッター

・防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（

・

Pa

開閉方式の種類

※電動式（手動併用）

・手動式

安全装置

電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置

（設置箇所・建具表による

・

電動式シャッターの障害物感知装置

（設置箇所・建具表による

・

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置

（設置箇所・建具表による

・

16

重量シャッター

性能値等

[5.11.2、3]

管理用シャッターのシャッターケース

・設ける

・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板の材質

・JIS G 3312（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・JIS G 3322（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付重量

※Z12又はF12

・

ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

防火防煙シートシャッター

・

開閉形式の種類

・電動式（手動併用）

※手動式

耐風圧強度（

・Pa

安全装置

電動式シャッターの障害物感知装置

（設置箇所・建具表による

・

電動式シャッターの障害物感知装置

（設置箇所・建具表による

・

スラットの材質の種類

・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・JIS G 3322（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付重量

（※Z06又はF06

・

・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付重量

（※Z00

・

スラットの形状

・インターロック形

・オーバーラッピング形

・

17

軽量シャッター

性能値等

[5.12.2~4]

管理用シャッターのシャッターケース

・設ける

・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板の材質

・JIS G 3312（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・JIS G 3322（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付重量

※Z12又はF12

・

ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質

ステンレス鋼板

※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

防火防煙シートシャッター

・

開閉形式の種類

・電動式（手動併用）

※手動式

耐風圧強度（

・Pa

安全装置

電動式シャッターの障害物感知装置

（設置箇所・建具表による

・

電動式シャッターの障害物感知装置

（設置箇所・建具表による

・

スラットの材質の種類

・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・JIS G 3322（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付重量

（※Z06又はF06

・

・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）

・めっき付重量

（※Z00

・

スラットの形状

・インターロック形

・オーバーラッピング形

・

18

オーバーヘッドドア

性能値等

[5.13.2、3]

セクション材料による区分

風圧力による区分(Pa)

開閉方式による区分

収納形式による区分

ガイドレールの材質

※スチールタイプ

・125

※バランスタイプ

・スタンダード形

※溶融亜鉛めっき鋼板

・アルミニウムタイプ

・100

※チェーントラック

・ローヘッド形

※ステンレス鋼板

・ファイバーグラスタイプ

・75

※電動式

・ハイリフト形

・50

・バーチカル形

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置

（設置箇所・建具表による

・

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。

・フロート板ガラス

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

・

・型板ガラス

型板ガラスの厚さによる種類

※建具表による

・

・網入板ガラス

網又は網の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

・

・合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類

※建具表による

・

形状による種類

・平面合わせガラス

・曲面合わせガラス

・

落球衝撃及び離特性及びショットバック衝撃特性による種類

・I類

・II-1類

・II-2類

・III類

・

・強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類

厚さの呼びによる種類及び特性による種類

※建具表による

・

破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類

・I類

・II類

・

・熱線吸収ガラス

板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

・

性能による種類

・1種

・2種

・

・複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

※建具表による

・

断熱性による区分

・T1

・T2

・T3

・T4

・T5

・T6

・

日射取得性及び日射遮蔽性による区分

・G

・S

・

乾燥気体の種類

・空気

・アルゴン

・

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

・

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

・1種

・2種

・3種

・

耐久性による区分

・A種

・B種

・

(日射熱遮蔽性が2種の場合)

・

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

・

20

ガラスブロック

性能値等

[5.14.5]

呼び寸法

厚さ

色調

目地幅(mm)

伸縮調整目地位置(mm)

防火性能

・160×160

・95

・

・

・

・

・200×200

・95

・

・

・

・

21

ガラス用フィルム

性能値等

[5.14.5]

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状

※図示

・

力骨

材質

※ステンレス鋼(SUS304)

・

寸法

※径5.5mm

・

形状

※はしご形状複筋及び単筋

・

化粧目地モルタルの色

・白

・グレー

・

シーリングの種類

・SR-1

・PS-1

・

金属製化粧板カバー

材質

※ステンレス鋼・アルミニウム製

・

寸法

※図示

・

形状

※図示

・

目地部の横力骨の納まり

※ガラスブロック製造所の仕様による

・図示

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1

・1.15

・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・

※施工箇所は建具表による

・

種類

記号

その他性能等

・日射遮蔽フィルム

※SC-1

・SC-2

可視光線透過率：65%以上

・低放射フィルム

・L

・

・

・衝撃破壊対応ガラス

・G1-1

・G1-2

・

飛散防止フィルム

・GD-1

・GD-2

・

飛散防止フィルム

・GD-1

・GD-2

・

・ガラス貫通防止フィルム

・SF

・

・

品質

JIS A 5759

による

・

熱割れ計算書

※要

・不要

第3者機関による性能測定データ

※要

・不要

6

内装改修工事

①改修範囲

[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま

・図示

②既存床の撤去及び下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去

※仕上げ材のみ（接着剤ととも

○下地モルタルとも

○図示の範囲

・除去範囲全て）

合成樹脂塗床材の除去工法

・機械的除去工法

・目荒し工法

・コンクリート又はモルタル床の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルによる「4章 内装改修工事」による。

改修後の床の清掃範囲

・

3

既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理

※図示）

・

④施工一般

[6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による

・

⑤製材

[6.5.2]

・JAS 1083-5

に基づく下地用製材

・

施工箇所

樹種名

寸法(mm)

等級

含水率

保存処理

図示

米松

図示

※2級

※A種・B種

K4

※2級

※A種・B種

・JAS 1083-2

に基づく造作用製材

・

施工箇所

樹種名

寸法(mm)

等級

含水率

保存処理

見え掛り面

米松

図示

※上小節

※A種・B種

K4

見え掛り面以外

※小節以上

※A種・B種

※A種・B種

・JAS 1083-6

に基づく広葉樹製材

・

施工箇所

樹種名

寸法(mm)

等級

含水率

保存処理

※1等

※10%以下

※1等

※10%以下

※1等

※10%以下

・JAS 1083（製材）以外の製材

・

施工箇所

寸法(mm)

材面の品質

含水率

防虫処理の適用

※A種・B種

・する

・しない

※A種・B種

・する

・しない

⑥造作用集成材

[6.5.2]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

・

施工箇所

品名

樹種名

見付け材面数

寸法(mm)

見付け材面の品質

間伐材等の適用

※1等

・2等

・

※1等

・2等

・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

・

施工箇所

品名

化粧薄板の樹種名

芯材の樹種名

化粧薄板の厚さ(mm)

見付け材面数

寸法(mm)

見付け材面の品質

※1等

・2等

・

※1等

・2等

・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

・

施工箇所

樹種名

寸法(mm)

見付け材面の品質

含水率

※15%以下

・

※15%以下

・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

・

施工箇所

化粧薄板の樹種

芯材の樹種

寸法(mm)

化粧薄板の厚さ(mm)

見付け材面の品質

含水率

※15%以下

・

※15%以下

・

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

・

施工箇所

品名

寸法(mm)

表面の品質

含水率

防虫処理の適用

※15%以下

・する

・しない

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

・

施工箇所

品名

寸法(mm)

表面の品質

含水率

防虫処理の適用

※14%以下

・する

・しない

※14%以下

・する

・しない

JAS 3079に基づく直交集成板

・

施工箇所

品名

強度等級

種別

接着性能(使用環境)

樹種

寸法(mm)

株式会社 大誠建築設計事務所

一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4)第9615号 代表取締役 一級建築士 小林 弘 幸

日付

記事

承認

照査

設計

設計年月日

件名

図面名

縮尺

A1

A3

AA-003

市庁舎本館事務棟ほかトイレ改修工事

特記仕様書ー3

一級建築士 第193004号 大形 一朗

[illegible]

 株式会社 大誠建築設計事務所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4)第9615号 代表取締役 一級建築士 小林 弘 幸	日 付	記 事	承 認	照 査	設 計	設計年月日	件 名	施 尺	A1 A3	AA-008
							市庁舎本館事務棟ほかトイレ改修工事			
							図面名			
							特記仕様書-8	一級建築士 第193004号	大形 一朗	